

たかさう 連携だより



2024年発行
第208号

5月号

地域連携症例検討会

眼形成眼窩外科 2～3

眼形成眼窩外科部長 笠井 健一郎

薬剤部だより 4

栄養だより 5

医師紹介コーナー 6

地域医療連携登録医のご紹介 7

セカンドオピニオンのご案内 8～9

外来診療担当表 10～11

院長閑話 12



撮影：患者サポートセンター 後藤 雅美

●地域医療支援病院 ●がん診療連携拠点病院

独立行政法人国立病院機構
高崎総合医療センター



〒370-0829 群馬県高崎市高松町36

代表 (TEL) 027-322-5901

URL <https://takasaki.hosp.go.jp/>

地域医療支援・連携センター(医療機関専用ダイヤル)

(TEL) 027-322-5835

(FAX) 027-322-5925

【理念】

患者さんから信頼される病院を目指します

【基本方針】

- 常に患者さん本位の医療を心がけます
- 研鑽に励み、安全で良質な医療を提供します
- 医療連携を積極的に推進し、地域医療に貢献します
- 良き医療従事者の育成に努めます
- 臨床研究を推進します
- 健全な病院経営を行います

【看護の理念】

人間の尊厳を大切にし、専門的な知識、技術を持ち、心のこもった看護を提供します

【患者さんの権利を守ります】

- 誰でも良質で安全な医療を受ける権利があります
- 患者さんの人格や価値観が尊重され、医療提供者との相互協力のもとで医療を受ける権利があります
- 病気、治療等について、十分な説明を受ける権利があります
- 他の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります
- 病気等について十分な説明を受けたうえで、自分の意志で検査や治療方法を選択したり、他の医療機関を選択する権利があります
- 医療情報に関する個人のプライバシーが守られる権利があります

地域連携症例検討会

S-1薬剤性眼障害の診断と治療の連携

～眼形成眼窩外科領域の診断と治療の連携～



座長
大山 充徳 先生
(大山眼科)



眼形成眼窩外科部長
笠井 健一郎

2024年3月19日(火) 18:45～20:00に『第44回地域連携症例検討会』を当院大会議室からZOOM開催いたしました。

今回は、『S-1薬剤性眼障害の診断と治療の連携～眼形成眼窩外科領域疾患の診断と治療の連携～』と題し、症例検討を行いました。

大山眼科(高崎市)院長の大山充徳先生を座長にお迎えし、院外30名、院内26名、合計56名と多くの医療関係者の皆様にご参加いただきました。

参加者は、医師、研修医、看護師、視能訓練士、臨床工学士、社会福祉士、医師事務作業補助者など、多職種にわたりました。

講演の最後には、登録医の先生方と討論することもでき、皆様と知識を深めることができました。

ご参加いただいた皆様に改めて御礼申し上げます。診療で大変お忙しい中を誠にありがとうございました。

● 検討内容

I. S-1とは

1. 効能
抗悪性腫瘍薬
2. 投与経路
経口(簡便)
3. 配合剤
 - ① テガフルル：5-FUのプロドラッグ
 - ② ギメラシル：5-FUの効果を高める
 - ③ オテラシルカリウム：5-FUの消化管副作用を軽減
4. 適応がん種
胃がんが多い

II. S-1の自覚的副作用

1. 眼
流涙(S-1投与から発症までの期間は3か月以内)、視力低下
2. 眼以外
口腔粘膜炎、皮疹(発疹)、色素沈着(これらは流涙の危険因子)

III. S-1薬剤性眼障害

1. 涙液中5-FUの動態
涙液の通り道を障害
2. 分類
 - ① S-1薬剤性結膜障害
 - ② S-1薬剤性角膜障害
 - ③ S-1薬剤性涙道障害

IV. S-1薬剤性角膜障害と代表症例

1. 自覚症状
視力低下
2. 病態
可逆的
3. 障害部位
角膜上皮
4. 治療
 - ① 局所薬物治療(対症療法)
 - ② S-1投与の中断・中止(重度の場合)
後遺症にならずに治療できる
5. 予防
点眼洗浄によるウォッシュアウト



小川院長



佐藤地域連携支援・連携センター長



笠井眼形成眼窩外科部長



田中薬剤師



生井視能訓練士



上田視能訓練士



V. S-1薬剤性涙道障害と代表症例

1. 自覚症状

流涙

2. 病態

不可逆的

3. 障害部位

涙点、涙小管が多い

4. 治療

手術

- ① 涙点形成術
- ② 治療的涙管チューブ挿入術
- ③ 経皮的涙小管形成術
- ④ 涙嚢移動術(=結膜涙嚢吻合術)(**重度**の場合)

※ S-1投与の中断・中止では治せない

難治性のため後遺症

5. 予防

- ① 点眼洗浄
- ② 涙道洗浄によるウォッシュアウト
- ③ 早期に予防的涙管チューブ挿入術(涙道**狭窄**の場合)

VI. 薬剤性眼障害対策チームの活動報告

1. 対象

2016年4月～2023年2月(約8年間)にS-1による眼の自覚的副作用で眼形成眼窩外科に紹介された患者71例142眼

2. 方法

診療録をもとに後ろ向きに調査

3. 結果のまとめ

- ① S-1投与から皮疹・口内炎・皮膚の色素沈着発症までの期間は2か月
- ② S-1薬剤性角膜障害はS-1投与の中断・中止から3.5か月で97%が回復
- ③ S-1薬剤性涙道障害の後遺症割合は21%

●おわりに

おかげさまで、眼形成眼窩外科は2024年4月に開設8周年を迎えることができました。これもひとえに、皆様のお力添えのおかげでございます。心から感謝申し上げます。

また、近隣の医療機関におかれましては、多数の患者さんをご紹介いただきまして、誠にありがとうございます。

『眼形成眼窩外科』は限られた狭い領域ですが、当科で扱う疾患は他科領域とも密接に関係しています。群馬県内の医療機関に限らず、院内外の様々な診療科と病診連携を深めて、患者さんのために、より良い診療を行えることを切に願っております。

ご不明な点がございましたら、遠慮なさらず、お気軽にご相談ください。

至らぬ点が多く、ご迷惑をおかけすることも多々あると存じますが、今後も地域の患者さんのお役に立てるよう精進して参りますので、より一層のお力添えを賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



薬剤部だより

薬剤部 千葉 理恵

「がん薬剤師外来」を開始しました

当院では、「がん薬剤師外来」を昨年10月より開始しました。



近年、経口抗がん剤で内服治療している患者さんは増えています。自宅で生活しながら治療ができるというメリットがありますが、一方で経口抗がん剤には、分子標的薬が多くあり、特有の皮膚の症状や下痢などの副作用が出現する薬が多く、患者さんとしては副作用の出現に苦労しながら生活しなければいけないことが問題となります。また、点滴の抗がん剤を投与する患者さんと比べると、主治医の診察のみで治療が始まるため、他の医療従事者との関わりが少なくなっています。診療に忙しい医師に相談するには躊躇してしまう、どこに相談していいか悩んでしまうなど相談しにくい困りごとや不安を相談する場所としてがん薬剤師外来を利用される方もいらっしゃいます。

がん薬剤師外来では、薬剤師が採血後の診察の待ち時間を利用し、患者さんの副作用出現状況やお薬がきちんと飲めているかの確認、生活での困りごとや不安などを事前に聴取し、内容をカルテに記載することで、医師が診察時に確認できるようにしています。また、副作用へ対応するための薬が必要と考えられる場合には、医師へ提案を行っています。相談内容によっては、看護師、栄養士、ソーシャルワーカー、保険薬局薬剤師などの色々な職種のスタッフと協力して問題を解決するように努めています。がん治療を自宅で生活しながら行い、安心して安全な抗がん剤治療が受けられるように、院内の多職種や地域との連携に積極的に取り組んでいます。保険薬局薬剤師との連携強化に向けて薬薬連携の研修会を定期的開催し、双方の意見や知識について理解を深めています。是非、経口抗がん剤治療中の患者さんに「がん薬剤師外来」をご活用ください。



栄養だより

端午の節句

端午の節句とは？

端午の節句の“端”とは、“はじめ”という意味です。

かつては5月に限らず、月の初めの午（うま）の日を“端午”と呼んでいました。

起源は古代中国。旧暦5月が物忌みの月とされていた中、5が重なる5月5日は“重五”と呼ばれ、邪気を祓う行事が行われていました。

この風習が日本にも伝わった事が、端午の節句の起源の1つとされています。

日本ではもともと5月5日は女性の節句…？

田植えを始めるこの時期に五穀豊穡を祈り、田植えをする女性＝早乙女（さおとめ）が巫女となって菖蒲や蓬（よもぎ）で屋根を葺いた小屋で身を清めたのです。

この風習が中国から伝わった風習と結びつき、菖蒲湯に入るといった習わしが生まれたと考えられています。

いつから男の子のお祭りになったの？

現在のように端午の節句が男の子のお祭りになったのは江戸時代です。

菖蒲は勝負や尚武（武事を尊ぶ）に通じる事から勇ましさの象徴となり、鯉のぼりを掲げて武者人形を飾るなど、男の子の祭りとして定着していきました。

こどもの日といえば…？

かしわ餅 若葉が出ないと古い葉が落ちないため、“後継者が絶えない・子孫繁栄”とされています。

鯉のぼり 鯉の滝登りで立身出世のシンボルとされています。

薬玉(くすたま) 薬玉は、邪気払いの為にもぐさや鹿の角などの薬種と、沈香などの香料を入れ玉状にしたものです。五色の糸を垂らし、周りを花で飾って部屋にかけるといった風習が残っています。

5月人形の飾り方

三段飾りの鎧飾りの場合、上段中央に鎧兜を置きます。

向かって左に弓矢、右に太刀を置き、中段には軍扇、陣太鼓、陣笠を置きます。

下段は柏餅や粽（ちまき）を飾ります。

皆様5月5日は、子供たちの健やかな成長を願い、柏餅を食べたり、鯉のぼり眺めに行ったりするのはいかがでしょうか？



医師紹介

当センターの医師を紹介します。



腎臓内科

わたなべ みつはる

渡辺 光治

4月から高崎総合医療センターの腎臓・膠原病リウマチ内科医師として赴任しました渡辺光治と申します。この度、当領域の専門診療科として、新規に立ち上げることとなりました。群馬大学腎臓・リウマチ内科からの医局派遣という形です。当医局の関連施設は、前橋赤十字病院、済生会前橋病院、藤岡総合病院、東邦病院の4病院でしたが、そこに高崎総合医療センターが加わることとなります。

私は平成18年に群馬大学を卒業し、これまで深谷赤十字病院、東邦病院、前橋赤十字病院、大学病院で勤務して参りました。大学病院では、腎臓内の免疫応答について基礎研究を行い博士号を取得し、その後は病院助教として臨床業務に従事してきました。医師としてはまだまだ未熟ですが、様々な難治性の腎臓・膠原病疾患を経験できたことで、今後はニーズのある新たな病院で貢献したいと考えようになりました。そのような経緯で、当科廣村教授と相談し今回の運びとなりました。高崎地区においては、すでに多くの腎臓・膠原病疾患を診療されている先生方がいらっしゃると思いますので、かかりつけの患者さんで総合病院での診療が望ましい方がいましたら、ぜひご紹介ください。

現在は私一人ですが、6月からは3人体制になります。また、今後はさらに若手医師などの派遣を増やしていけたらと考えております。高崎地区の医療に貢献できるよう精一杯がんばりますので、今後ともよろしくお願い致します。



救急科

やじま ひさお

矢嶋 尚生

はじめまして。今年度4月より高崎総合医療センターへ勤務することになりました、救急科の矢嶋尚生と申します。出身は群馬県太田市で、群馬大学医学部で医学を学びました。こちらの病院には同門の先生が多数在籍していらっしゃる、大変心強く思っております。初期研修医の頃から地元の太田記念病院へ長らく勤務しておりました。その途中、2年間ほど群馬大学医学部附属病院へ勤務していたこともあります。さらに医師としての研鑽を積み、見聞を広めるべく高崎総合医療センターへ参りました。西毛地区のことはまだよく分からず、これから学ばせていただければと思います。専門は救急の他に、IVRと集中治療です。緊急IVRが必要な場合や集中治療が必要な場合お役に立てるかもしれません。趣味は散歩で風景を眺めながら歩き回るのが好きです。前は登山もしていましたが、最近は行けていません。群馬愛は割と強い方で、上毛かるたの札に関連する場所へはすべて行きました。最後は「老農 船津伝次平」の墓でしたが、船津家のお墓がたくさんあり、伝次平先生のお墓が最初分かりませんでした。まだまだ若輩者ですが、こちらの地域医療に貢献できればと思っております。浅学非才の身ですが、一生懸命頑張りますのでご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

地域医療連携登録医のご紹介

地域医療連携登録医の皆さまとパートナーシップを組んで診療に取り組んでいます。

青梨子はぎわら医院

院長あいさつ

今回高崎総合医療センター登録医となりました、萩原です。2020年まで常勤・2023年までは非常勤でお世話になっておりましたが、これからは登録医として高崎総合医療センターを支援して行ければと思います。



青梨子はぎわら医院
院長
萩原 周一

診療科・病院案内



内科・外科・救急科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(8:00~12:00)	●	●	△	●	●	●	△
午後(15:00~18:30)	●	●	△	●	●	◆	△

◆土曜の午後は14:00~17:00までになります。

群馬県前橋市青梨子町1714-1 TEL:027-210-5501

診療科の枠にとらわれない幅広い診療領域に対応します。また、当院では院内で血算・生化学検査、CT、ホルター心電図など対応可能です。感染症・在宅医療・睡眠時無呼吸症候群のCPAPにも鋭意対応いたします。

医療法人 石井会 渋川伊香保分院

院長あいさつ

当院では医師の診察に基づく西洋医学のほか、東洋医学やリハビリテーションにも力を入れており、多方面からの治療を提供しております。

皆様の健康にお役立てできるよう、また地域医療に貢献できるよう努めて参ります。



渋川伊香保分院
院長
安田 佳史

診療科・病院案内



整形外科・皮膚科・形成外科 リハビリテーション科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00~12:30)	●	●	●	●	●	△	△
午後(14:30~18:00)	●	●	●	●	●	△	△

皮膚科：受付17:30まで【完全予約制】木曜午後休診

形成外科：水曜~12:30まで。木曜~16:30まで

群馬県渋川市中村116-1 TEL:0279-30-3111

少子高齢化やストレス社会が作り出す様々な疾患に対して、西洋医学のみでは対応が困難と思われる。当院では東洋医学を取り入れ、個々の症状にあった治療を提供しています。西洋と東洋が融合し、少しでも皆様のお役に立てればと考えております。

セカンドオピニオンのご案内

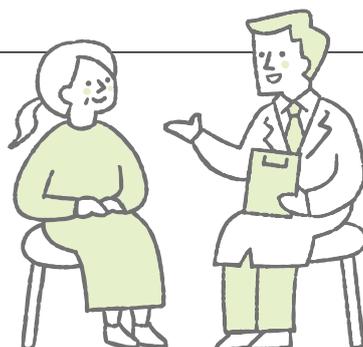
当センターではセカンドオピニオン外来を実施しております。
概要につきましては以下のとおりです。

01 対象患者さん

- 現在当センター以外の医療機関で診療を受けている患者さん、ご家族
- 現在の主治医（他医療機関）の診断及び治療方針について、当センター医師に参考意見を求め、患者さんご本人が自らの疾患をより理解し適切な診療を選択する等の為に、セカンドオピニオン外来の活用を望む方
- 主治医（他医療機関）からセカンドオピニオンを目的とした紹介状及びフィルム等の検査資料を当院に提供可能な患者さん、ご家族であることを要します（主治医にセカンドオピニオンを受けるための紹介状等をお願いすれば対応してもらえます）
- 相談者をご家族の場合は、原則として患者さんの同意を得た場合といたします

02 実施診療科 **【各科の専門医が対応いたします】**

内科、精神科、呼吸器内科、消化器内科、心臓血管内科、
小児科、外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、
脳神経外科、呼吸器外科、産婦人科、泌尿器科、
眼科、放射線診断科、放射線治療科、歯科口腔外科



予約方法

完全予約制 代表電話：027-322-5901

※代表にお電話を頂き、『セカンドオピニオン係』とお申し付け下さい

【受付時間】 月曜～金曜 8時30分～17時の間

※精神科の受付時間は **月曜～金曜 8時30分～12時迄** となります

※事前にご予約電話を受け付け、担当専門医と日程調整を行った後に折り返し
当センターより連絡させていただきます

外来時間

セカンドオピニオン外来時間（診療科によって曜日は異なります）

月曜～金曜 13時30分から15時30分の間で調整

費用

30分以内 5,500円（消費税込み）

30分以上 11,000円（消費税込み）

セカンドオピニオンとは

セカンドオピニオンとは現在の自分の病状や治療方針について他の医師の意見を求めることをいいます。

医療が進歩してさまざまな治療法が生まれています。

その結果、医師によって病気に対する考え方が違うことや、病院によって医療技術や診療の質に差があることも考えられます。治療法について具体的な比較ができ、より適した治療法を患者さん自身が選択することができます。

当センターでは、よりよい治療法を患者さん自身が選択できるように、セカンドオピニオンを積極的に勧めしております。

セカンドオピニオン 外来担当表

科名	医師名	専門	曜日
内科	佐藤 正通	内科全般、血液内科	火
呼吸器内科	中川 純一	呼吸器全般	火、金
消化器内科	長沼 篤	消化器病一般、肝臓病	随時
	増田 智之	食道、胃、大腸	
心臓血管内科	広井 知歳	狭心症・心筋梗塞の治療（カテーテル治療）	金
	太田 昌樹	不整脈一般	水
	福田 延昭	心不全、弁膜症	木
小児科	五十嵐 恒雄	小児科全般・未熟児・新生児	水
外科	坂元 一郎	消化器外科全般	水
	冢田 敬輔	上部消化管	水
	平井 圭太郎	肝臓、胆のう、膵臓	水
	宮前 洋平	下部消化管	水
乳腺・内分泌外科	鯉淵 幸生	乳がん全般・甲状腺外科	随時
	高他 大輔	乳がん全般・甲状腺外科	随時
心臓血管外科	小谷野 哲也	心臓血管の外科治療	火、木、金
呼吸器外科	伊部 崇史	肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般	木
	高坂 貴行	肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般	火
脳神経外科	田中 志岳	脳腫瘍	月
	笹口 修男	水頭症、脳外科一般	木
	佐藤 晃之	血管障害	金
産婦人科	伊藤 郁朗	婦人科腫瘍	月、火、金
泌尿器科	柴田 康博	泌尿器科全般	火
眼科	土屋 明	眼科全般（眼腫瘍を除く）	水、木
放射線診断科	根岸 幾	画像診断CT・MR中心	木
	佐藤 洋一	画像診断CT・MR中心	火
放射線治療科	永島 潤	悪性疾患の放射線治療	
歯科口腔外科	稲川 元明	口腔顔面痛	火、水、木、金
	柴野 正康	口腔外科全般、顎変形症、インプラント	月、火、木、金

3月22日現在

外来診療担当表

当センターは、地域医療支援病院として運営しております。
かかりつけ医の先生からの紹介状をご持参願います。

	月	火	水	木	金
総合診療科・内科	佐藤 正 通	佐藤 正 通 <small>予約のみ</small>	佐藤 正 通 <small>午後</small>	佐藤 正 通	佐藤 正 通
栄養食事指導外来		植原 大 介 <small>午後</small>	(田村 耕 成) <small>予約のみ</small>	(合田 史) <small>午後：予約専門外来</small>	
腎臓・膠原病リウマチ内科	渡辺 光 治 <small>午前</small>	中里見 征 央	渡辺 光 治 <small>午前</small>	渡辺 光 治 <small>午後</small>	渡辺 光 治 <small>午前</small>
血液内科	(三井 健 揮) <small>午後</small>				
内分泌代謝内科	渋沢 信 行	岡田 研 也 <small>午前</small>	植原 良 太 <small>午前</small>	渋沢 信 行 <small>午後</small>	渋沢 信 行 <small>午後</small>
神経内科	清水 千 聖 <small>午前</small>	平柳 公 利	唐澤 将 紀 <small>午後</small>	柴田 真	今泉 純
	(池田 雅 美)		清水 千 聖 <small>午後</small>		
呼吸器内科	中川 純 一 <small>午前</small>	細野 達 也	小林 頂	中川 純 一	細野 達 也
	井上 俊	竹村 仁 男	田口 浩 平	竹村 仁 男	小林 夏 緒
消化器内科	長沼 篤	星野 崇	柿崎 暁	長沼 篤	星野 崇
	安岡 秀 敏	鈴木 悠 平	安岡 秀 敏	増田 智 之	佐野 希 望
	上原 早 苗	佐野 希 望	増田 智 之	鈴木 悠 平	書上 愛
	成清 弘 明	成清 弘 明	井戸 健 太	小林 倫 太郎	小林 倫 太郎 <small>(紹介のみ)</small>
	石原 弘 <small>(井戸 健 太)</small>		石原 弘 <small>(小林 倫 太郎)</small>		
上部内視鏡検査	星野 / 増田 / 書上	安岡 / 増田 / 小林	上原 / 佐野 / 成清	上原 / 佐野 / 成清	長沼 / 鈴木 / 井戸
心臓血管内科 (循環器)	太田 昌 樹 <small>午前：通常 / 午後：不整脈外来</small>	大駒 直 也 <small>午前</small>	広井 知 歳 <small>午後：不整脈外来</small>	福田 延 昭 <small>午前</small>	太田 昌 樹 <small>第2, 4週午後：ペースメーカー外来</small>
	村田 智 行 <small>午前</small>	高橋 伸 弥 <small>午前</small>	太田 昌 樹 <small>午後</small>	羽鳥 直 樹 <small>午前</small>	小林 紘 生 <small>午前：通常 / 午後：不整脈外来</small>
新患外来 (午前)	高橋 伸 弥	柴田 悟	村田 智 行	羽鳥 直 樹	大駒 直 也
心不全総合外来		午後			
術前外来	午前			午前	
精神科	山崎 雄 高 <small>午前</small>	山崎 雄 高 <small>午前</small>	山崎 雄 高 <small>午前</small>	山崎 雄 高 <small>午前</small>	山崎 雄 高 <small>午前</small>
				(井田 逸 朗) <small>午前</small>	
小児科	五十嵐 恒 雄 <small>午前</small>	五十嵐 恒 雄 <small>午後</small>	五十嵐 恒 雄 <small>午前</small>	小笠原 聡 <small>午後</small>	五十嵐 恒 雄 <small>午後</small>
	内田 亨	倉田 加奈子 <small>午前</small>	倉田 加奈子 <small>午後</small>	倉田 加奈子 <small>午前</small>	小笠原 聡 <small>午前</small>
	小川 百花 <small>(荒川 篤 康)</small>	斎藤 淑 人 <small>午後：第1, 2, 3, 5週のみ</small>	佐藤 幸 一 郎 <small>午後</small>	植原 実 紅 <small>(西澤 拓 哉)</small>	佐藤 幸 一 郎 <small>第3週は午前のみ</small>
		(神尾 綾 乃) <small>第4週午後</small>	加藤 裕 之 <small>(滝沢 琢 己)</small>	(岩脇 史 郎)	坂本 康 大 <small>(浅見 雄 司)</small>
小児外科	(西明・高澤慎也) <small>第1, 3週午後</small>	(西明・高澤慎也) <small>第4週午後</small>			
外科 (消化器)	坂元 一 郎 <small>午前：通常 / 午後：肝胆脾専門外来</small>	小川 哲 史 <small>午前</small>	家田 敬 輔 <small>午前：通常 / 午後：上部消化器専門外来</small>	平井 圭 大 郎 <small>午前：通常 / 午後：肝胆脾専門外来</small>	宮前 洋 平 <small>午前：通常 / 午後：下部消化器専門外来</small>
栄養サポート外来	齊藤 秀 幸 <small>午前：通常 / 午後：食道専門外来</small>	真木 茂 雄	生方 泰 成 <small>午前：通常 / 午後：上部消化器専門外来</small>		栗山 令
禁煙外来		小川 哲 史 <small>午前</small>			
ストーマ外来		小川 哲 史 <small>午後</small>		第2, 4週午後・予約	予約

01 外来診療受付時間

8:30~11:00まで

(予約の場合は最終予約時間まで)

※再来受付機は8:00から受付しています

- 紹介状をお持ちの方、紹介事前予約の方は、1番：紹介状をお持ちの方・地域医療連携窓口で受け付けております。
- 当センター受診にはかかりつけ医の先生からの紹介状をご持参ください。紹介状をお持ちでない方は、診察をお受けできない場合や、長時間お待ちいただく場合がございます。
- 精神科の初診の患者さんは完全予約制となります。精神科外来までご連絡をいただき、来院日のご予約をお願いいたします。
- 受診時にはお薬手帳、薬剤情報提供書または飲んでいるお薬をご持参ください。

02 休診日

土、日、祝日、年末年始

- 学会等により、休診または医師が交替する場合があります。院内掲示もしくはホームページをご覧ください。

地域医療支援・
連携センターから
地域の先生へお願い

当センターへの紹介の際は、
地域医療支援・連携センターを通した
事前予約にご協力下さい。

令和6年4月1日現在

	月	火	水	木	金
泌尿器科	井上雅晴 栗原聰太 <small>午前</small>	栗原聰太 柴田康博	交代制	柴田康博 井上雅晴 <small>午前：通常 / 午後：不妊外来</small>	交代制
疼痛緩和内科 看護外来	田中俊行 <small>午前・午後</small>	田中俊行 <small>午前・午後</small>	田中俊行 <small>午前・午後</small>	田中俊行 <small>午前・午後</small>	田中俊行 <small>午前・午後</small>
乳腺・内分泌外科	鯉淵幸生 成澤瑛理子 本田周子 <small>午前</small>	鯉淵幸生 高他大輔 成澤瑛理子 本田周子 <small>午前</small>	鯉淵幸生 高他大輔 本田周子	(荻野美里) 青木麻由 交代制 <small>第2,4週午後：予約 第1,3,5週午後：予約</small>	高他大輔 成澤瑛理子 本田周子 <small>午前 第2,4週 第1,3,5週午前</small>
心臓血管外科	<手術日>	交代制 <small>午後</small>	<手術日>	小谷野哲也 羽鳥恭平 <small>午前 午後</small>	茂原淳 <small>午前</small>
呼吸器外科	<手術日>	伊部崇史 高坂貴行 牛久保陸生 <small>第1,3週午前 / 第5週午前・午後 第2,4週</small>	<手術日>	伊部崇史 高坂貴行 牛久保陸生 <small>午前 午後</small>	<手術日>
整形外科	荒 毅 信太晃祐 茂木智彦	大澤敏久 大島淳文 齋藤和弥	荒 毅 信太晃祐 一ノ瀬 剛 齋藤和弥	新井 厚 茂木智彦 <手術日>	大澤敏久 一ノ瀬 剛 大島淳文
骨粗鬆症外来		新井 厚 <small>午後</small>			
形成外科	交代制 <手術日>	中村英玄 山田有美 <small>午後</small>	中村英玄 山田有美 <small>第1,2,3,5週午前 / 第4週午後 第1,2,3,5週午後 / 第4週午前</small>	<手術日> 山田有美 <small>午前</small>	中村英玄 <手術日> <small>午前 午後</small>
脳神経外科	田中志岳 (井上千鶴) <small>午前</small>	齋藤貴寛 岡田悦子 太田内莉 <small>午前</small>	<手術日> 岡田悦子 太田内莉 <small>午前</small>	笹口修男 岡田悦子 太田内莉 <small>午前 午前</small>	佐藤晃之 岡田悦子 太田内莉 <small>午前 午前</small>
皮膚科					
産婦人科	伊藤郁朗 黒住未央 東 杏莉	青木 宏 黒住未央 宇津木秀勅	<産後健診> (井上直紀) <small>午前</small>	小田洋樹 (金井真理) <small>午前 午前</small>	伊藤郁朗 青木 宏 東 杏莉
遺伝性腫瘍外来				伊藤郁朗	
眼科	土屋 明 <small>紹介・予約</small>	土屋 明	土屋 明	土屋 明	土屋 明
眼形成眼窩外科	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎
耳鼻いんこう科	高橋克昌 岡宮智史	岡宮智史	<手術日>	高橋克昌	高橋克昌 岡宮智史 <small>午前</small>
放射線治療科	永島潤 弓崎晃	永島潤 弓崎晃	永島潤 弓崎晃 (堀込瑛介) <small>午前</small>	永島潤 弓崎晃	永島潤 弓崎晃 (富澤建斗) <small>午前</small>
歯科口腔外科	柴野正康 <small>紹介・予約</small>	<手術日>	田中 斉 <small>紹介・予約</small>	柴野正康 田中 斉 <small>紹介・予約</small>	<手術日>
新患外来	田中 斉 <small>紹介・予約</small>		柴野正康 <small>紹介・予約</small>	交代制	
歯科(歯科麻酔) 摂食嚥下・口腔ケア外来	稲川元明 渡邊真央 倉持真理子 <small>第1,3,5週のみ、紹介・予約 紹介・予約 紹介・予約</small>	稲川元明 倉持真理子 (荒井亮・辻野啓一郎) <small>第2,4週のみ、紹介・予約</small>	稲川元明 倉持真理子 <small>紹介・予約 紹介・予約</small>	稲川元明 渡邊真央 倉持真理子 <small>紹介・予約 紹介・予約 紹介・予約</small>	稲川元明 倉持真理子 <small>紹介・予約 紹介・予約</small>

()の医師は非常勤です。

03 予約について

当院は「医療機関からの紹介患者事前予約制」をとらせていただいております。

医療機関様にはお手数をおかけしますが、予約の際には「事前予約申込書」に必要事項を記載し、地域医療支援・連携センターへFAXにてご依頼ください。折り返しお電話で予約日時の連絡をさせていただきます。

※分娩希望についてはこの限りではありません。

※心臓血管内科は平日8:30~11:00までに紹介状を持参のうえ来院していただけますと当日受診が可能です。

※消化器内科で早めの対応が必要な患者さんは平日11:00~15:00までに紹介状を持参のうえ来院していただければ対応させていただきます。(予定での紹介が可能な患者さんは地域医療支援・連携センターを通しての予約をお願いします。)

04 連絡先

高崎総合医療センター内 地域医療支援・連携センター

医療機関専用ダイヤル: 027-322-5835 《平日 8:30~18:30 / 土曜日 8:30~17:15》
FAX: 027-322-5925 《FAXは24時間受け付けています。お返事は翌営業日になります》

院長閑話

vol.35

「ミyakumyak」で挽回なるか

院長 小川 哲史



2025年4月に開幕予定の大阪万博、開催まで1年を切りましたが問題が山積しています。会場建設費が当初の2倍近い2350億円に達し、今回の最大の呼び物である1周2キロの木製建築物「大屋根」が344億円、トイレが1カ所最大2億円など、驚くべき高額になるようです。また誘致の難航や建設の遅れが言われてきた海外パビリオンの自前での建設国が60か国から40か国に激減し、さらに万博への期待や関心も高まらず、チケット販売は目標の2300万枚に対し現時点で130万枚、わずか6%だそうです。

万博と言えば、昭和45年1970年に「人類の進歩と調和」をテーマに、世界77か国が参加した大阪万博、EXPO'70が思い出されます。どの会場も大盛況で長蛇の列、目標入場者数3000万人に対して2倍以上の6422万人もの入場者がありました。人気のパビリオンはたくさんありましたが、特にアポロ12号が持ち帰った「月の石」を展示したアメリカ館が最大の人気でした。当時、私は10才の小学4年生でとても行くことも出来ず、叔父からお土産にもらった万博の記念メダルを手し、テレビの映像を羨望と妬みの思いで見っていました。子供心に是非とも「月の石」を見たかった！

70年の大阪万博のシンボルは、なんといっても太陽の塔でしょう。「芸術は爆発だ」の岡本太郎が制作した巨大なモニュメントで、万博終了後も引き続き万博記念公園に残され、2020年には国の登録有形文化財に登録されています。当時からこの奇抜な建造物に強く惹かれ、後日レプリカを買い今でも部屋に飾っています。数年前に念願かない50年後の「太陽の塔」の実物を見ることができました。その斬新さ、奇抜さ、まさに他に類を見ない造形で、後世に残すべき素晴らしい芸術作品だと実感しました。丹下健三が1964年の東京オリンピックの時に制作した国立代々木競技場といい、あの時代の日本の建築家、芸術家の作品は、日本の古典芸術作品に勝るとも劣らない、そして今後も色褪せることのない素晴らしい作品だと思います。

さて、今回の大阪万博の公式キャラクターは「ミyakumyak」です。公式WEBサイトによると「ミyakumyak」は、「細胞と水がひとつになったことで生まれた、ふしぎな生き物。その正体は不明。赤い部分は「細胞」で、分かれたり、増えたりする。青い部分は「清い水」で、流れる様に形を変えることができる。なりたい自分を探して、いろいろな形に姿を変えているようで、人間をまねた姿が、今の姿。但し、姿を変えすぎて、元の形を忘れてしまうことがある。外に出て、太陽の光をあびることが元気の源。雨の日も大好きで、雨を体に取り込むことが出来る」そうです。??ちょっと意味不明です。

その愛称のコンセプトは「今まで「脈々」と受け継がれてきた私たち人間のDNA、知恵と技術、歴史や文化。変幻自在なキャラクターは更にあらゆる可能性をその身に宿して、私たち人間の素晴らしさをこれからも「脈々」と未来に受け継いでいくくれるはず。」とのことで、世界中の人々から愛され、万博の周知と機運の醸成に広く活用するとしています。しかし、私の感性がおかしいのでしょうか。どう見ても残念ながら「ミyakumyak」にはとても親しみがわかず、赤と青の色調、カエルの卵のような多数の「眼」、その呼称からも何か脈管の疾患のような負のイメージが浮かび、はっきり言って「キモイ」です…。はたして「ミyakumyak」今回の万博にこれまで着せられた汚名返上に役立つでしょうか。

さて、江戸時代に開国早々の日本が初めて参加した1867年のパリ万博や、戦後25年ハワイ旅行がまだ庶民の憧れだったEXPO'70の時代でしたらいざ知らず、これほどインターネットが普及し、誰でも世界の情報を瞬時に簡単に手に入れることができる今の日本で、莫大な費用をかけて万博を開催する意義はどこにあるのでしょうか。疑問もあった万博の開催、能登半島地震後の中止や延期の意見を押し切った強硬姿勢などを見ると、今回の万博には大変な利権や裏金が絡んでいるのでは？と邪推したくなります。

(4月16日)

Information

行事などのお知らせ

第45回地域連携症例検討会

総合診療科内科領域疾患の
診断と治療の連携

日時：2024年5月30日(木)
18:45～20:00

演者：高崎総合医療センター
内科系診療部長 佐藤 正通

対象：医療従事者
高崎総合医療センターよりWEB配信
※申し込み必要

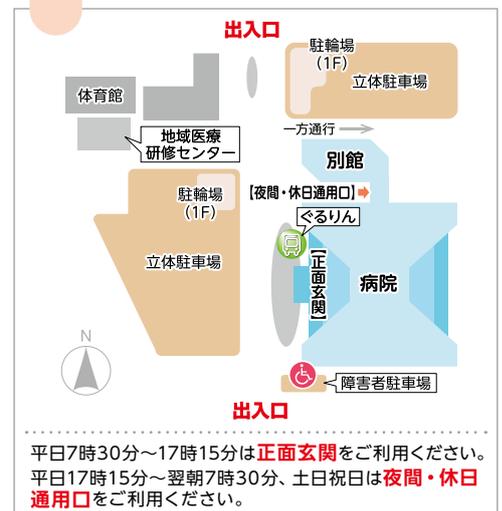
第140回カンサーボード

日時：2024年5月23日(木)
18:00～

診療科：呼吸器外科
会場：高崎総合医療センター 講堂
対象：医療従事者
※申し込み不要

7月25日(木)開催のカンサーボード(疼痛緩和
内科)は、12月26日(木)に変更となります

高崎総合医療センター案内図



登録医の先生方からのご寄稿・ご意見をお待ちしております。
地域医療支援・連携センターまでご連絡をお願い致します。

電話 **027-322-5835** (医療機関専用ダイヤル)

ホームページより本冊子のバックナンバーをご覧頂けます

<https://takasaki.hosp.go.jp/kouhoubackno.html>

検索



Facebook



Instagram



独立行政法人国立病院機構

高崎総合医療センター